

# ～～市民活動団体の活動内容～～

団体名（シネマクラブ「のだ・名画を上映する会」（略して「シネマクラブのだ」））

団体の活動内容

【すべて公開】

## （１）団体の活動目的

映像は世界共通の映像言語、その映画を通して各国の暮らしや文化を学ぶ。人は自然環境や社会のシステムに振り回され、当然ながらいろいろな出来事が起ります。悩んだり落ち込んだり、泣いたり笑ったり、気分が良かったり怒ったりと、体も良い時も悪い時もあります。一生は長いようで短い。そんな人生でも映画の魔法を通して、生きていることが、一時でも捨てたもんじゃ無いと思えたら良いです。細やかな幸せだけれどそれが映画の魅力だと思います。

上映後、気楽に映画の夢についてお喋り出来たら良いです。野田市内にそういうコミュニティの場があったら良い。埼玉県深谷市に「深谷シネマ」57席、茨城県那珂市瓜連に「あまや座」31席のミニシアターがあります。そういうミニシアターが野田市内、商店街にもあったら良い。欲しいです。昔のように映画館(文化)を中心にした「まちおこし」をやってみたい。そんな夢物語を考えています。

## （２）団体の活動内容（詳細） ※活動風景等の写真があれば掲載をお願いします。

去年、2022年8月6日、野田市中央公民館講堂にてスペイン映画、アルフォンソ・アマドル監督作品「カマグロガ」（2020年／111分）のドキュメンタリー一般上映会を行いました。

山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局から作品をお借りしての約10年振りの映画界でした。事務局からは前も作品を借りたことがあるのでそれなりに関係も出来ています。山形市にて2年おきに開かれる大きな国際ドキュメンタリー映画祭、代表自身も30年前、初期の頃から参加しています。各会場にて約200本以上も上映され、外国の監督さんたちとの質疑応答も出来る、映画好きな仲間たちとの交流の場もあり、山形市内も散策できる素晴らしい映画祭です。嬉しいのはそこで評判を呼んだ作品が貸し出され上映も出来ます。その資金が次回制作資金にもなります。

今回の作品はスペインのバレンシア地方の都市近郊で、古代エジプト時代から食用にされていたタイガーナッツを代々生産してきた農家、父親のアントニオと娘のインマが、営々と農作業を続ける1年間を丁寧に追った記録映画です。

周辺には開発の波が押し寄せ、後継者も減っている。時代の流れに抗いながら土を耕し続ける農家としての矜持（きょうじ、誇り、プライド）が、この土地の歴史とともに伝わってくる。2021年山形国際ドキュメンタリー映画祭、山形市長賞（最優秀賞）受賞作品でした。

野田市内でも都市農業の高齢化、開発の波と問題は深刻です。畑を守りたいが守れない、なくなれば、食糧問題、自然住環境問題にも影響するので今後も関連するような作品を上映します。

今年度も配給会社、監督から作品をお借りして2～3本はドキュメンタリー映画を上映したい。農業・自然住環境、社会問題・暮らしなど関連した作品になります。テーマは押し付けず、それでも人や動植物、昆虫たちは生きていく。その姿や生きている思いが描かれた素晴らしい作品を上映します。

## （３）団体としてPRしたいこと、その他

※団体ホームページ URL (<http://www.cinemaclubnodablog24.fc2.com/>)

映画は観なくとも日常生活には影響はありませんが、あの暗闇の大きなスクリーンの前に一人身をゆだねる時間は我に返る貴重な時間です。主人公と共に泣き笑い、怒り、喜び笑い生きていけたら幸せです。「シネマクラブのだ」のホームページは自由に幅広く開放して映画以外、地域の問題、まちづくり、地域づくり等の情報も掲載中。野田市内いろいろな場所に、みんなの commons（共有地）が出来たら良いです。